

# 企画調整局

一般会計要求総額 6,661百万円  
(対前年度+6.9%)

## 【令和6年度 予算要求の方針】

「新たなビジョン」を推進するにあたり、企画調整局が各局の施策や取組に横串をさし、一体となってけん引・推進します。また、3つの重点戦略を好循環させることで、都市の総合力を高めていきます。

### ○「稼げるまち」の実現

- ・メガリージョン 産業、観光、空港、人材などのポテンシャルを生かした各局の連携事業を推進
- ・国際都市間連携 各局による産業、観光、環境面での海外ビジネスチャンスの創出を支援
- ・バックアップ首都構想 災害の少なさや豊富な水資源といった強みを発信し、各局と連携して企業誘致を戦略的に推進

### ○「彩りあるまち」の実現

- ・まちのアップグレード 新たな都市ブランドや多彩な魅力の発信と良質な教育環境等の整備により、まちの「イメージ」と「ステータス(格)」をアップグレード
- ・移住・定住 データ分析等を踏まえ、ターゲット(年代、エリア)を絞り込み、各局の取組も含め一気通貫で組み合わせ、若者や子育て世代の移住・定住を促進

### ○「安らぐまち」の実現

- ・外国人に選ばれるまちづくり 国籍に関わらず、誰もが安心して暮らし、活躍できるまちづくりを推進

## 【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業 拡充：拡充事業

### 1 「稼げるまち」の実現

要求額 1,727百万円 (対前年度 ▲13.7%)

- 新規 メガリージョン推進事業  
海外とのネットワーク構築・強化事業  
SDGs未来人材育成事業

- 新規 國際都市間連携促進事業  
SDGsリーディング企業創出事業  
ふるさと寄附金促進事業

### 2 「彩りあるまち」の実現

要求額 2,811百万円 (対前年度 +37.8%)

- 新規 シティプロモーション推進事業  
公立大学法人北九州市立大学運営事業  
新規 若者世代における首都圏関係人口創出事業  
定住・移住促進事業

- 拡充 民間専門人材活用事業  
新規 企業版ふるさと納税を活用した私学支援事業  
新規 留学生定着促進事業  
北九州市移住支援金事業

### 3 「安らぐまち」の実現

要求額 43百万円 (対前年度 +65.3%)

- 外国人市民との共生社会の実現に向けた環境整備事業 希望のまちプロジェクト支援事業

### 4 その他

要求額 23百万円 (対前年度 +666.7%)

- 新規 新ビジョン推進事業 北九州市アドバイザー事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

# 令和6年度企画調整局予算要求方針

## 1 令和6年度企画調整局予算要求総括及び方針

### (1) 令和6年度企画調整局予算要求総括

#### 【一般会計】

令和6年度要求総額	6,661,224 千円
(令和5年度予算額	6,232,229 千円)
前年度比	+6.9%

### (2) 令和6年度企画調整局予算要求の方針

「新たなビジョン」を推進するにあたり、企画調整局が各局の施策や取組に横串をさし、一体となってけん引・推進します。また、3つの重点戦略を好循環させることで、都市の総合力を高めていきます。

## 2 重点的に取り組みたい主なもの

### (1) 「稼げるまち」の実現

#### メガリージョン

産業、観光、空港、人材などのポテンシャルを生かした各局の連携事業を推進

#### 国際都市間連携

各局による産業、観光、環境面での海外ビジネスチャンスの創出を支援

#### バックアップ首都構想

災害の少なさや豊富な水資源といった強みを発信し、各局と連携して企業誘致を戦略的に推進

#### ・新規メガリージョン推進事業

29,130 千円

メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、福岡市や下関市、連携中枢都市圏とのトップ会談の開催に加え、府内各部局が展開する自治体間の連携事業の推進・拡大や新たな事業の検討・実施をバックアップします。

**・新規国際都市間連携促進事業**

**7,750千円**

産業分野、教育分野などにおける海外の知見や海外の活力を取り込むため、イギリスや北欧、インドなどとの新しい都市間連携の構築を目指します。

**・海外とのネットワーク構築・強化事業**

**4,639千円**

北九州市の海外戦略を推進していくため、各国の窓口である大使館・領事館とのネットワークの構築・強化を図ります。

**・SDGsリーディング企業創出事業**

**47,000千円**

市内企業等の「稼ぐ力」の強化と社会課題解決の同時実現を図るため、ESG投資・脱炭素等の国際的な潮流への対応に意欲的な市内中小企業等に専門的な知見を持つアドバイザー等を派遣して、社会課題に沿った経営課題の特定と、解決に向けた体制整備による「経営戦略の変革」をサポートします。

**・SDGs未来人材育成事業**

**21,000千円**

社会課題解決の担い手（人材・団体など）を育成するため、市民や団体等が社会課題の解決にチャレンジする活動を支援するとともに、企業と学生との交流の場・コーディネート・マッチングなどの場や情報を提供します。

**・ふるさと寄附金促進事業**

**1,617,000千円**

ふるさと納税制度を活用した市外居住者からの寄附に対し、返礼品を発送するとともに、一層の歳入を確保するため、増収に向けた返礼品の開発やPRを実施します。

## (2) 「彩りあるまち」の実現

### まちのアップグレード

新たな都市ブランドや多彩な魅力の発信と良質な教育環境等の整備により、まちの「イメージ」と「ステータス（格）」をアップグレード

### 移住・定住

データ分析等を踏まえ、ターゲット（年代、エリア）を絞り込み、各局の取組も含め一気通貫で組み合わせ、若者や子育て世代の移住・定住を促進

#### ・新規（仮称）シティプロモーション推進事業 73,000千円

北九州市を知ってもらうとともに、イメージをアップさせるため、新ビジョンに基づく新たな都市イメージや、北九州市のポテンシャルやまちの魅力を発信します。

#### ・拡充民間専門人材活用事業 112,167千円 (うち拡充分 57,767千円)

外部の知見等を市政に生かすため、民間企業等の専門人材を受け入れます。【令和5年度：7人→令和6年度：19人】

#### ・拡充公立大学法人北九州市立大学運営事業（標準運営費） 2,200,000千円 (うち拡充分 364,000千円)

北九州市立大学の自律的・安定的な運営を確保するとともに、教育研究機能の強化を支援するため、大学運営の基盤的資金である運営費交付金を交付します。

#### ・新規企業版ふるさと納税を活用した私学支援事業 350,000千円

多様で質の高い教育を提供できるよう、企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）を活用し、私立学校での外国語・IT教育など特色ある教育カリキュラムの推進や魅力ある教育環境整備を支援します。

**・新規若者世代における首都圏関係人口創出事業 3,000 千円**

首都圏の若者世代の将来的な移住を目指し、関係人口を創出・拡大するため、首都圏の大学と連携し、学生が北九州市の魅力を調査・発見するワークショップを開催します。

**・新規留学生定着促進事業 4,000 千円**

留学生が在籍する教育機関や支援団体等が加入する「北九州市留学生支援ネットワーク」を活用し、将来の高度人材として活躍が期待される留学生の市内定着に向けた事業を実施します。

**・定住・移住促進事業 37,200 千円**

北九州市への移住を促進するため、移住検討者へのSNSでの情報発信やホテル滞在費補助に加え、移住者交流会を定期開催します。また、若者の定着や東京に転出した若者世代の将来的なUターン移住を目指し、地域企業との交流や若者間のネットワークを形成します。

**・北九州市移住支援金事業 32,000 千円**

国の制度を活用し、東京圏からの移住で一定の要件を満たす場合に最大100万円の移住支援金を支給します。さらに、18歳未満の子ども加算を支給するなど、子育て世帯を中心とした移住促進を強化します。

### (3) 「安らぐまち」の実現

**外国人に選ばれるまちづくり**

国籍に関わらず、誰もが安心して暮らし、活躍できるまちづくりを推進

**・外国人市民との共生社会の実現に向けた環境整備事業 5,444 千円**

外国人市民が地域の一員として社会の活力となることを目指し、日本人市民・外国人市民双方が安心して暮らせるよう、暮らしやすい環境整備を行うとともに、生活・防災情報の発信や地域との交流支援等を実施します。

#### ・希望のまちプロジェクト支援事業

38,000 千円

令和4年度に実施した「希望のまちプロジェクト応援クラウドファンディング」での寄附金等を活用して、暴力団総本部事務所跡地に整備される地域共生社会の拠点施設の整備費の一部を支援します。

### (4) その他の取組み

#### ・新規（仮称）新ビジョン推進事業

20,000 千円

令和5年度に策定の新ビジョンについて、市内への浸透と市外に向けた発信を行うため、本編冊子や概要版パンフレットの作成、市民向け講演会を実施します。

#### ・北九州市アドバイザー事業

3,000 千円

北九州市の今後の市政展開にあたり、国内外で活躍する各分野の有識者に「北九州市アドバイザー」として就任いただき、市政に対する助言や情報発信を依頼します。

## 3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

### (1) 視点6：官と民の役割分担、公民連携

（例）・SDGsリーディング企業創出事業

### (2) その他一般経費（内部管理費）の見直し